

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>&lt;広 報&gt; 田村主幹</p> <p>&lt;広 聴&gt; 露口主幹</p>	<p>開催日時 平成27年5月27日（水）18:30～20:10 健診ホール 出席者 栗崎部会長、佐久間副部会長、加藤、志布、疋田、池野本、川越、佐々木委員 説明員 平井総務部長、田村総務主幹、露口まちづくり主幹 事務局 小澤、大江</p> <p>テーマ &lt; 14 広報・広聴 &gt;</p> <p>配布資料をもとに &lt;広報について&gt; ・現状と課題について説明～ 以前は、まちづくりGで広報と広聴の両方もっていたが、現在の所管は総務Gで広報を。まちづくりGで広聴を受け持っている。情報発信は、広報とホームページを中心に発信してる。平成23年度からは各担当で直接記事作成しているが、課題として、各担当で情報発信量に差がある。又、検索性に難があります。そのため、ホームページのリニューアルや管理体制の見直しを進めているところ。</p> <p>・基本的な考え方～ 広報誌は町の情報を広く提供できる手段であり、見る方読む方の視点煮立った情報提供に努める。多くの方に読んでもらう工夫を重ねていく。 スマートフォン普及でホームページアクセスが年々増加しているのでSNSなど新たな提供手法も取り入れる必要もある。</p> <p>・計画の検証～ 広報内容の充実の取り組みとして一業者によって編集レベルに差があるため、今年から広報業務委託をプロポーザル方式で選定した。今後の方向性としては、編集体制を直営ですること検討に。一定レベルが確保できるような編集体制にしていきたい。 ホームページについての充実一庁内のプロジェクトチームで検討実施して、今年度にリニューアルする予定。課題は検索性や情報量が担当によって差がある、提供頻度も、このため平成27年度でリニューアルする見通し。 情報提供の多様化について一SNSを活用した検討したい。更新体制やルール構築のども必要。 &lt;情報公開の推進&gt; 情報提供の推進として、ファイリングシステム導入し、全庁に入れていきたい。公文書の検索性向上へ。</p> <p>&lt;広聴関係&gt; 現状と課題について説明～ ・まち育出前講座は、昨年度は54回実施、約1600名の町民に利用してもらった。震災地への職員派遣体験談や、介護関連や交通安全はじめ多くの講座を利用してもらっている。 ・行政と自治会をの懇談なども実施し、相互理解に努めている。 ・相談体制の窓口、数多くの相談員により実施しているところ。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
露口主幹	<p>計画の検証として～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち育出前講座は、開始以来、毎年利用が増えてきている、メニューも82講座を用意しているところ。しかし提供する講座メニュー充実や、町民へのさらなる周知を取り組んでいきたい。</li> <li>・地域サポーター制度をより利用しやすく改善を検討。具体的には今年度には職員担当をこれまで、異動により変更していたが、ずっと固定化して担当自治会を変えないでいく体制。人数も主査、担当まで含めた多くの職員が関わることにした。</li> </ul>
佐々木委員 佐久間委員	<p>スマホ利用は何件ほど？ 正確な記録手元がないが10万カウンターは利用していたと思う。</p>
加藤委員	<p>去年は、「くらすわ美幌」のページを楽しみに見ていた。最近更新がないのでさびしい。担当者が忙しいのか？無理なこといわないが。 (担当者に伝えます。)</p>
池野本委員 佐久間委員	<p>フェイスブックの導入は何時頃から？ 8月か9月にホームページリニューアルしたいが、合わせて最初にフェイスブックを導入予定。</p>
池野本委員	<p>メールマガジンはどうかと考える。 カテゴリーに分類できるので、そうした登録で興味ある方は利用情報ももらえやすい。ホームページだと、項目が多いし、なかなか必要な情報にたどり着けない。</p>
佐久間委員	<p>今検討しているのは、まちの話題で、将来的には、フェイスブックやラインなどで、美幌の情報を提供できるようにしたい。更新頻度は多くできないが、若い方への発信をしたい。 行政情報、観光情報、子育て情報等のサブページを3つくらい用意したい。1000ページほどある情報なので、役場職員でも大変。</p>
池野本委員	<p>検索でも、正しい名称を入力しないと該当してこない。 いろんな情報発信しないとダメで、大変だと思うが。</p>
佐久間委員	<p>画像の貼り付けにする作りだと、文字検索ができなく、検索にひっかからない理由もある。</p>
栗崎委員	<p>さっぱり使えないので、私は皆さんの会話についていけない。 このテーマについては、他に特に発言なければ、次に移りたいと思います。</p>
<広域行政> 露口主幹	<p>&lt;テーマ15 広域行政&gt; 現状の説明～ 広域連携では、オホーツク管内が一丸となり国や道などに要望活動を実施している。要望内容の選択と集中が必要であり効果的な要望活動を展開しているところ。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
露口主幹	<p>また、以前は町村合併の課題もあったが、現在は動きはありません。広域行政という言葉には、一般になじみがない言葉ですが。</p> <p>例えば、オホーツク圏活性化期成会が大きな組織。TPP、農業基盤や高規格道路の整備、地域医療への確保や、空港路線確保維持など広い分野から特に、この地域で要望している。</p> <p>他にもオホーツクAI推進協議会がある。食物や観光資源を道外へ統一ブランド的に発信して、この地域の魅力を理解し、来てもらう事に力を入れています。</p>
露口主幹	<p>&lt;定住自立圏構想&gt; 別紙資料を配付して説明～</p> <p>少子高齢化になり、特に北海道では人口減少や高齢化が進んでいる。地方で、安心して暮らせるために、三大都市圏に人口集中しないよう人の流れを地方に。</p> <p>中心市(北見市、網走市、紋別市)に都市機能があって、隣接する町村が、町の持つ農水産業、自然、産業を生かすために、民間の力も借りる事もしながら、中心市と隣接町が相互に役割分担をしていく。町民の暮らしを守り、人口定住を進めていくという考え方です。</p> <p>広域行政として、こうした手法があります。</p> <p>一つの自治体で解決できないため、こうした動きが出てくる。広域行政の一つとして目的をもって、今後考えていくことになると思う。</p> <p>近くでは事例で、網走市と大空町が、道内でも資料のように取り組みを始めている。</p>
栗崎委員 露口主幹	<p>市町村合併で、数は今どれだけ。</p> <p>北海道は179の自治体数。全国では1,700から1,800程度になったと思う。</p>
栗崎委員	<p>合併では、あまり良い話を聞かない。無理して進めるとだめなのかな？</p>
加藤委員	<p>明和大学の行事参加で、大空町でも何か女満別と東藻琴を分けて参加しているような。</p>
志布委員	<p>道議選挙で知らないうちに区割りとか定数変更になっていた。</p> <p>何かおかしいと思う。</p>
池野本委員	<p>例えば、道路管理で、改修とか、要望は基本的には美幌町ですか。広域要望であるのが前提なのか？</p>
露口主幹	<p>美幌単独については独自要望しているが、広域で要望するものもある。</p>
栗崎委員	<p>道東高速道使うと自宅から千歳に行くまで、4時間程度で行ける。トンネルが多く、トンネル内に坂もあるので注意しないと。</p>
志布委員	<p>利用料金が高いと思う。田舎道の道を利用するときは安くしてもらいたい。平日割引も無いようだし。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
志布委員	<p>私たちは利用しやすくして、安ければ、パーキングで降りてその場所で楽しみたいが。</p>
佐久間委員	<p>広域行政のテーマでは、本来は要望ばかりの事項ではなく、水道とかゴミとか、実際に広域で取り組んでいる項目を載せるべき。</p>
露口主幹	<p>医療や介護、消防など広域で取り組んでいるものはある。自分の自治体で難しいことを、隣接自治体と考えて協力していくこと考える必要も出てきそうだ。</p>
粟崎委員	<p>テーマが大きく、まとまらないが。</p>
露口主幹	<p>今回でテーマはひとつおりの巡り一巡したことになります。来月にも2巡目に進みながら、再度意見をもらいます。</p> <p>終了</p>